

競技上の注意・ユニフォームについて

競技部・規則審判部

ユニフォームについては、2025-バスケットボール競技規則に則ったものとする。

1 ユニフォームの準備について

1. パンツ・シャツは、必ず淡色・濃色を用意し、各色において同型・同色・同デザイン、全員統一したものとする。同型・同色・同デザインであっても、明らかに素材が異なる場合は不可とする。

【シャツ】

- ・学校名の記載の有無は問わない。また異なる学校名や都道府県名のみのもので構わない。
- ・Vネック・Uネックが混在したり、異なるメーカーのロゴなどが混在したりすることは認められない。

【パンツ】

- ・パンツの色は、必ずしもシャツと同色でなくてもよい。
2. プログラムで先に記載されているチームが淡色のシャツ（白色が望ましい）を着用する。
プログラムで後に記載されているチームが濃色のシャツ（白色以外の濃い色）を着用する。
 3. ユニフォームには、前と背中の見えやすい位置に、ユニフォームの色とはっきりと区別できる単色の番号をつけなければならない。番号は、0番，00番，1～99番とする。

【JBA ユニフォーム規則の施行について】

2021年4月1日より、JBA ユニフォーム規則が施行されております。今後加盟各校にて新たにユニフォームを製作する場合は、この規則に則る必要があります。詳細につきましては、以下の規則をご確認頂きますようお願い致します。

http://www.japanbasketball.jp/wp-content/uploads/Uniform_new_20201111.pdf

2 試合にあたっての注意点について

1. ユニフォームの色の変更を申し出る場合は、まず大会事務局へ事前に連絡をすること。
事務局が必要と認めた場合のみ、対戦校に了承を得て許可する。（原則としては認めない）
2. ユニフォームの下に半袖のコンプレッションウェアを着用できるが、着用する選手は、チーム内で同一色のものを着用すること。また、特別な事情を除きユニフォームの下に長袖を着用することは認められない。
3. シャツの裾をパンツの中に入れること。（女子はシャツをパンツの外に出すようにデザインされたものを使用してもよい。）
4. 本大会において、極力サポーターやリストバンド等の色をチーム内で統一することが望ましい。
5. 装飾品（指輪、ネックレス、ピアスなど）は、試合前に必ずはずす。
髪飾り（リボンやシュシュ、ヘアピンなど）の使用はできない。
入れ墨（タトゥー）は、テーピングやサポーターを用いて隠す。

6. ベンチに入ることができるのは、最終登録を終え、さらに試合前に提出したメンバー表に記入された人のみである。スタッフ5名（引率責任者、部長、コーチ、Aコーチ、マネージャー）、選手15名の計20名とする（引率責任者、部長、コーチは同一人物も可とする）。試合時、**引率責任者**または**部長**のどちらか1名が必要。両名とも不在の場合は不戦勝となる。

◆ 上記について、引率責任者が事前に責任をもって確認すること。開会式及び試合の際に不備がないよう十分に注意すること。